

第4章 職業情報提供ビデオの作成経過

第2章の「職業紹介ビデオ」及び第3章の「社会的スキル訓練ビデオ」を参考にし、地域センターの職業準備訓練生等の職業前訓練段階の知的障害者に対する職業情報提供を想定し、「職場のマナーやルール」と「いろいろな仕事」という2本のビデオを制作した。

第1節 いろいろな仕事

1. 「いろいろな仕事」ビデオに収録した職種

「いろいろな仕事」は、第2章に述べた東京都立王子養護学校で制作された「仕事紹介ビデオ」をモデルとして制作したが、このビデオにおいても、「職場のマナーやルール」と同様、職業準備訓練において使用することを前提としたため、長時間のビデオ教材を使用する機会が少ない。そこで、短時間で収録できる限りの事業所を考え、14の職種を選択し、約20分という時間で終了するビデオを制作した（実際に制作されたビデオの時間は21分）。

このビデオにおける職種の分類については、日本産業分類や職業分類に基づいておらず、知的障害者が過去において就職したか、あるいは知的障害者に理解されやすい分類という考えに基づいて王子養護学校で制作された「仕事紹介ビデオ」に準じた分類を行った。

収録している職種は、以下の14種の仕事である。

2. ビデオの内容構成

ビデオは導入部分として、知的障害者たちがそれぞれの職場で働く様子を映し出し、ナレーションが始まる。

「皆さんが仕事を選ぶとき、その仕事が本当に自分に向いているかどうか、考えることが大切です。何故なら、そうしたことを十分に考えないで就職してしてしまうと、やる気が出なかったり、つまらなくなったり、せっかく就いた仕事を辞めてしまう場合が起きるからです

それでは、『自分に向いている』とはどういうことなのでしょうか？」

続いて、映像をバックに次のテロップが表示され、ナレーションが続く。

「まず『その仕事が好きか』、次に『その仕事が自分にできるものであるかどうか』を考えることが大切です。」

次に、テロップが流れる。

- その仕事が好きか

- ・その仕事が自分にできるものであるかどうか

テロップが表示されている状態で次のナレーションが流れる。

「その仕事が自分に向いているかを考えるときに、実際にどんなことをする仕事なのかをよく知る必要があります。そのためには実際の職場を見学することが一番ですが、それは、なかなかできません。

そこで、職場に行かなくても、仕事の内容が皆さんにわかってもらえるよう、このビデオは作られました。これからいろいろな仕事が出てきますので、皆さん一緒に見て就職の参考にして下さい。」

表 4 - 1 いろいろな仕事

-
- I. ものを作る仕事
 - 1) パン屋
 - 2) 段ボール工場
 - 3) 部品工場
 - II. ものを売る仕事
 - 4) ラッピング
 - 5) 品出し
 - III. 食堂・レストランの仕事
 - 6) レストランの皿洗い
 - 7) ハンバーガーショップ
 - IV. きれいにする仕事
 - 8) クリーニング工場
 - 9) ビル清掃
 - V. ものを運ぶ仕事
 - 10) 社内郵便
 - 11) 運送助手
 - VI. 仕分けの仕事
 - 12) タイルの仕分け
 - 13) 本の仕分け
 - 14) 事務用品の仕分け
-

この導入部分が終了した後、引き続いて14種の仕事場面とナレーションが順次示される。画面構成およびナレーションは、付録のシナリオの通りである。

以下に、各仕事の画面に用いた1場面ずつを写真 4 - 1 から写真 4 - 14までに例示する。

写真4-1 パン屋



写真4-2
段ボール工場

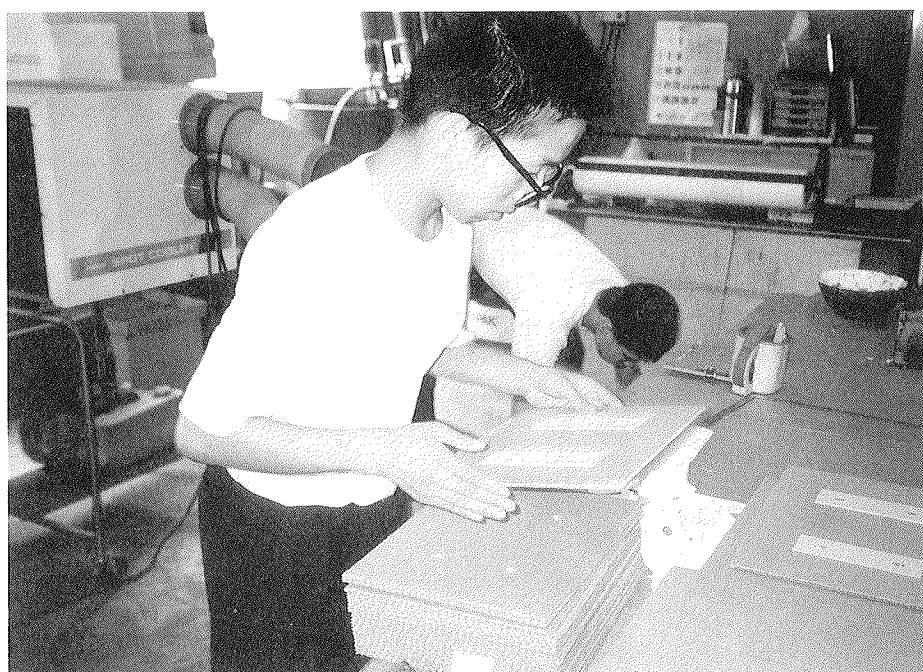


写真4-3 部品工場



写真4-4 品出し



写真 4-5 ラッピング



写真 4-6

レストランの皿洗い



写真 4 - 7
ハンバーガーショップ



写真 4 - 8
クリーニング工場



写真 4 - 9 ビル清掃



写真 4 - 10 社内郵便



写真 4 - 11 運送助手

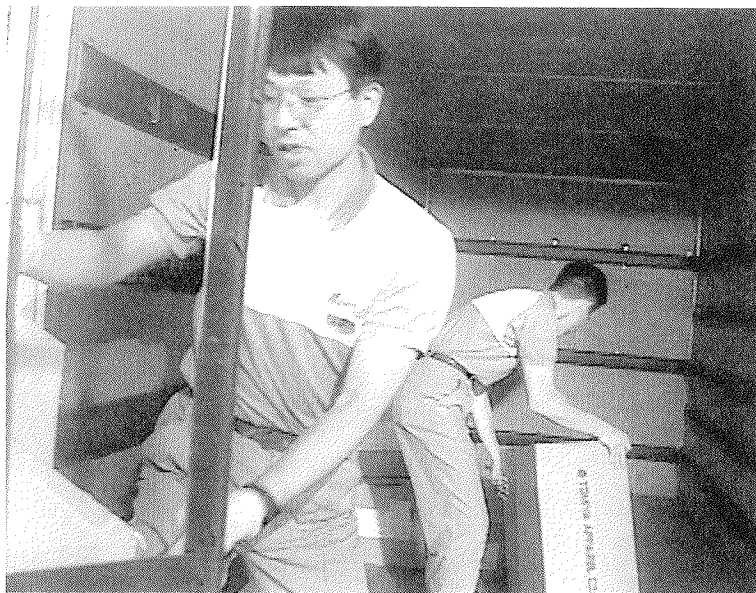


写真 4 - 12
タイルの仕分け



写真 4 - 13 本の仕分け



写真 4 - 14
事務用品の仕分け

